【ドバイ 2019 世界パラ陸上競技選手権大会・第 4 日（11 月 10 日午前）】出場選手コメント

◆女子 1500m　T20　決勝

・蒔田　彩弥香（愛知陸上競技協会）

勝ちたかったです。勝ちたかったです。悔しかったです。また、勝ちたいです。

・古屋　杏樹（彩 tama 陸上クラブ）

調子は合わせてきたつもりでしたが、悔しい結果に終わってしまって残念です。目標は 4 位以内を取るか、4 分 40 秒を出すかだったので、悔しいです。（蒔田さんとの競り合いについて）普段はとても仲が良いですが、走るとライバルになる。今は蒔田さんがランクが一つ上なので、勝たないとと思いました。

◆男子 100m　T64　予選

・井谷　俊介(SMBC 日興証券)

全体の 8 番、ギリギリでしたね。タイムも 0.02 秒差・・・。朝の準備では昨日の疲労はあるものの動けているかなと思ったが、いざアップしてスタート直前になるとうまく力が入らず、自分の走りができなかった。スタートの反応やフォームはよかったが、力感がなかったので、他の選手に置いていかれた。フォーム自体はスタートから後半まで全体的によかったと思う。ただ、パワーポイントで地面に力が伝えられていなかったのがよくなかった。

インドネシアの選手にも先行され、ちょっとまずいなと思ったが、力みは全くなかったし、焦ることもなく、自分の走りをすれば、後半させると思っていた。焦っても自分のフォームで走れるようになったのは、今シーズンに入って 200m に取みだした相乗効果だろうと思う。

決勝に向けては、まずはしっかりリカバリーしてから今日のレースを振り返り、どこをどう修正すればいいのか考えたい。明日の決勝では 7 位、6 位と、一つでも順位を上げることを狙って自分の走りを徹底したい。

◆男子 100m　T12　予選

・山路　竣哉（LINE）

SB となる 11 秒 37。レベルの高い組だったので、しっかりついて行ければ自分のベストは更新できるだろうなと思っていたので、変な力みもなく、相手もあまり意識せず、自分の走りができたと思います。

大会4日目で初レースは、待ち遠しいなという気持ちはあったが、変に焦ることなく準備できた。走りとしては、シーズンベストが出せたのは大きいですし、技術面でもコーチと相談しながら、（課題とする）後半の走りを意識することはできた。

ドバイはよく大会で来ているので会場もよくわかっているが、世界選手権はレベルも違うし、独特な、ワクワクする雰囲気があり、楽しい。SBは出せたので、準決勝に進めたら、次はPBを目指し、さらに決勝進出を狙っていきたい。

（コメント協力：星野恭子）